

## 専攻科音楽専攻進学コースとは

- (1) 専攻科音楽専攻進学コースは、本学で4年間（本科2年間・専攻科2年間）学び、学士取得を目指すコースです。専攻科在籍中に所定の単位を修得し専攻科2年次に行われる独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の審査に合格すると、「学士」の学位が授与されます。「学士」の学位は四年制大学卒業と同等の資格を認証するものです。
- (2) 専攻科音楽専攻進学コースの学生は、本学において本科及び専攻科の計4年間の学修が保証されます。専攻科への進学を希望すれば、専攻科入学試験が免除されます（出願書類審査のみ）。また、専攻科音楽専攻進学コースであっても、本科2年で卒業することもできます。
- (3) 専攻科で学士の学位を取得すれば、大学院への進学にもチャレンジできます。また、四年制大学卒業者に与えられる各種受験資格も得られます。

## 募集定員

10名（作編曲専攻、声楽専攻、ピアノ専攻、管弦打楽器専攻）

※総合音楽専攻からは志願できません。

## 出願・専攻・合格発表

- (1) 作編曲専攻、声楽専攻、ピアノ専攻、管弦打楽器専攻のいずれかを志願する場合、専攻科音楽専攻進学コースも同時に志願することができます。
- (2) 専攻科音楽専攻進学コースを志願する者は、入学志願票に記載されている専攻科音楽専攻進学コースを「志願する」にチェックしてください。
- (3) 専攻科音楽専攻進学コースの合否判定は、本科合格者の中から専攻科音楽専攻進学コースへ入学志願している者の試験結果で決定します。
- (4) 専攻科音楽専攻進学コース入学志願者の合格発表は本科の合否通知書に記載し送付します。

## 納付金

専攻科音楽専攻進学コース合格者は4年間の学修が保証され、通常必要となる専攻科への入学検定料と入学金が免除されます。

## 専攻とコース

音楽科には、作編曲、声楽、ピアノ、管弦打楽器、総合音楽の5専攻があります。

専攻名	専攻内容
作編曲	音楽全般の専門知識を修得するとともに一般的な教養も高め、音楽関係の就職はもとより、作曲家、編曲家としての活躍が期待できるような人材を養成します。
声楽	音楽全般の専門知識を修得するとともに、秀でた演奏技術や能力の向上を図り、演奏家としての活躍が期待できるような人材、あるいは実技指導等の音楽関係の職場に対応する人材を養成します。
ピアノ	
管弦打楽器	
総合音楽	音楽全般の専門知識を修得するとともに一般的な教養も高め、音楽関係はもとより、一般的な職種においても有用な人材を育成します。

声楽、ピアノ、管弦打楽器の3専攻には演奏コースと専門コースがあります。

専攻名	コース内容
声楽	入学後、コースを決めます。 演奏コース…演奏家としての活躍が期待できるような人材育成コース 専門コース…実技指導等の音楽関係の職場に対応する人材育成コース
ピアノ	
管弦打楽器	
総合音楽	1年次後期末試験により、声楽、ピアノ、管弦打楽器の各専攻への変更可能

## 専攻別実技 (p.16 ~ p.17 参照)

専攻名	実技試験内容
作編曲	作曲2題出題 (試験時間 30分)
声楽	演奏
ピアノ	
管弦打楽器	
総合音楽	演奏

## 募集する楽器名

専攻名	楽器名
声楽	声楽
ピアノ	ピアノ
管弦打楽器	フルート オーボエ クラリネット バスクラリネット ファゴット サクソフォーン トランペット ホルン ユーフォニアム トロンボーン バストロンボーン チューバ マリンバ 小太鼓 ヴァイオリン コントラバス
総合音楽	声楽 ピアノ フルート オーボエ クラリネット バスクラリネット ファゴット サクソフォーン トランペット ホルン ユーフォニアム トロンボーン バストロンボーン チューバ マリンバ 小太鼓 ドラム ヴァイオリン コントラバス

# 各専攻実技科目

## 1. 作編曲専攻

与えられた3つの音高から始まる、8小節程度の旋律を創る。2題出題。試験時間は30分。  
ピアノを使用できる。

※総合能力入試〔自己アピール型〕、一般推薦入試出願者で、作品提出（作曲した楽譜）希望者は、課題内容の説明をしますので、出願前に入学センターへお問い合わせください。

## 2. 声楽専攻

(i) 課題曲の中から2曲を選択し、当日試験官が指定する1曲を演奏する。

(ii) 自由曲については任意の1曲を選択して演奏する。(i)の中から、課題曲として選択しなかった曲を演奏しても良い。

### 伴奏楽譜の提出について

課題曲2曲、自由曲1曲の伴奏用楽譜を1部ずつ提出する。1ページ目の左上に受験者氏名、課題曲・自由曲の別を明記し、蛇腹折りに製本し、出願書類と共に必ず提出すること。

### 演奏についての注意

① 歌詞は原語により、暗譜で演奏すること。いずれの調で演奏してもよい。

② DVD提出の場合は、(i) 課題曲2曲、(ii) 自由曲1曲の計3曲を録画すること (p.15 参照)。

(i)

～イタリア歌曲～

Caro mio ben	(T.Giordani)
Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)
Nina	(伝 G.B.Pergolesi)
Sento nel core	(A.Scarlatti)
Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)
Se tu m'ami	(伝 A.Parisotti)
Sebben, crudele	(伝 A.Caldara)
Vergin, tutto amor	(F.Durante)

～日本歌曲～(第1節まで)

赤とんぼ	(山田 耕筰)
夏の思い出	(中田 喜直)
花	(瀧 廉太郎)
浜辺の歌	(成田 為三)

## 3. ピアノ専攻

(i) a. 練習曲、(i) b. バッハ、(ii) ソナタの課題曲の中からそれぞれ1曲ずつ任意に選択して演奏する。

### 演奏についての注意

① すべての課題曲は繰り返し無しで暗譜で演奏すること。

② DVD提出の場合も、(i) a.、(i) b.、(ii) からそれぞれ1曲ずつ計3曲を録画すること (p.15 参照)。

(i) a. ショパン：練習曲 Op.10, Op.25 (ただし、Op.10-6, Op.25-7 を除く)

ツェルニー：40 番練習曲、50 番練習曲、60 番練習曲

クラマー・ビューロー：60 番練習曲

モシュレス：練習曲

クレメンティ：29 の練習曲 Op.70

モシュコフスキー：15 の練習曲 Op.72

b. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 (前奏曲とフーガ)、3 声のシンフォニア、2 声のインヴェンション

(ii) ハイドン：ソナタ Hob.XVI より、速い楽章 (ただし、XVI-35C-dur を除く)

W.A. モーツァルト：ソナタより、第1楽章又は最終楽章 (ただし、K.282 と K.545 を除く)

ベートーヴェン：ソナタより、速い楽章 (ただし、Op.49-1, Op.49-2 及び Op.27-2 の第1楽章を除く)

## 4. 管弦打楽器専攻

各専攻楽器ごとに、下記の楽器別試験曲から課題曲 (i) の a・b 及び (ii) を演奏する。

### 楽譜の提出について

選択した曲 (エチュード・課題曲) の楽譜2部 (コピー可) に氏名を記入し、出願書類と共に必ず提出すること。

### 演奏についての注意

① すべての曲について、繰り返し無しで演奏すること。

② 任意の楽曲は、独奏又は伴奏付きの楽曲であること (但し、入試当日はピアノ伴奏は付かない)。練習曲でも可。

③ 試験範囲は原則としてすべて演奏すること。任意のカットも認めない。但し、審査時間の都合上、演奏を途中で止めることがあるが、審査には影響はない。

④ 課題曲は、難易度が準じているもの又はそれ以上のものも認める。

⑤ DVD提出の場合は、楽器別試験曲を全て録画すること (p.15 参照)。

### <楽器別試験曲>

- |        |  |
|--------|--|
| フルート   | (i) a. 【スケール】 #・b 2つまでの長調、短調 (和声的・2オクターブ) から各1つずつ当日指定<br>b. 【エチュード】 ケーラー：練習曲 第2巻より任意の1曲<br>(ii) 「FLUTE MUSIC by FRENCH COMPOSERS」(SCHIRMER 社刊) より任意の1曲 |
| オーボエ   | (i) a. 【スケール】 #・b 2つまでの長調、短調 (和声的) から各1つずつ当日指定<br>b. 【エチュード】 フェルリング：48 の練習曲作品 31 より任意の1曲 (版は自由)<br>(ii) 任意の楽曲または練習曲                                    |
| クラリネット | (i) a. 【スケール】 アイヒラー「クラリネットのためのスケール」(国立音楽大学出版社) より #・b 2つまでの長調、短調から各1つずつ当日指定 (1番のみ)   |

- b. 【エチュード】ローズ：32の練習曲（Leduc版）より任意の1曲
- (ii) 以下より1曲選択して演奏すること。
- A. シュターミッツ：クラリネット協奏曲 第3番 変ロ長調より 第1楽章（出版社は自由）
- B. クロンマー：クラリネット協奏曲 変ホ長調 作品36より 第1楽章（出版社は自由）
- バスクラリネット (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（旋律的・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】ルビオ：25の練習曲（MUSICA DIDACTICA）より任意の1曲
- ファゴット (ii) ボザ：バラード（Southern Music社）
- (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（和声的・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】課題は課さない
- (ii) ヴァイセンボーン：ファゴット練習曲 第2巻 Op.8 No.1、No.10より1曲当日指定
- サクソフォーン (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（和声的）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】フェルリング：48の練習曲（ミュール編、Leduc版）より任意の1曲
- (ii) クレストン：ソナタ Op.19より任意の楽章
- トランペット (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（和声的）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：60の練習曲 第1巻のNo.6、No.8より1曲当日指定
- (ii) アーバン（全音楽譜出版社：旧版の場合）：金管教本第2巻「12の幻想曲とアリア」NO.5 Variations on a song "Vois-tu la neige qui brille" (The Beautiful Snow) (129ページ)より主題部（テーマ）、Var. I 及び Var. II
- ホルン アーバン（全音楽譜出版社：ISR版の場合）：「12の幻想曲とアリア」5. Variations on a song "Vois-tu la neige qui brille" (The Beautiful Snow) 「輝く雪の歌」による変奏曲（パート譜17ページ）より主題部（テーマ）、Variation I 及び Variation II
- (i) a. 【スケール】A・B・H・C・Cis・D（実音）より、長調、短調（和声的・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：60の練習曲 第1巻 No.8、No.15より1曲当日指定（Carl Fischer版または全音楽譜出版社）
- (ii) モーツァルト：ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 Kv.447 第1楽章（カデンツァ無し）（出版社自由）
- ユーフォニアム (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（旋律的・1オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：60の練習曲 第1巻 No.3
- (ii) 任意の曲1曲（3分程度のもの）
- トロンボーン (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（旋律的・1オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：60の練習曲 第1巻 No.2、No.3より1曲当日指定
- (ii) ロッシュ：メロディアスエチュード No.3
- バストロンボーン (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（旋律的・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：60の練習曲 第1巻 No.3、No.7より1曲当日指定（No. 7は1オクターブ下げて演奏すること）
- (ii) ロッシュ：メロディアスエチュード No.4（1オクターブ下げずに記譜通りで演奏すること）
- チューバ (i) a. 【スケール】#・b 2つまでの長調、短調（旋律的・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 【エチュード】コップラッシュ：チューバのための60の練習曲集より任意の1曲
- (ii) ボルドーニ：チューバのための43のベルカントスタディ No.1、No.2より1曲当日指定
- ヴァイオリン (i) a. 【スケール】任意の調による3オクターブの音階並びにアルペジオ
- b. 【エチュード】ローデの奇想曲より任意の1曲
- (ii) 任意の協奏曲の第1楽章又は最終楽章
- コントラバス (i) a. 【スケール】任意の調による2オクターブの音階
- b. 【エチュード】課題は課さない
- (ii) 任意のソナタ第1楽章、第2楽章、または任意の協奏曲第1楽章のどちらかを選択
- 打楽器 \* 打楽器専攻者は、a. マリンバか b. 小太鼓のどちらかを選択すること。
- (i) a. マリンバ：【スケール】#・b 3つまでの長調及び短調（和声的、旋律的両方・2オクターブ）から各1つずつ当日指定
- b. 小太鼓：2つ打ち及び5つ打ち及びロール（P < ff > P）
- (ii) a. マリンバ：任意の楽曲
- b. 小太鼓：任意の楽曲

## 5. 総合音楽専攻

自由曲を任意選択して演奏する。

### 楽譜の提出について

選択した曲の楽譜2部（コピー可）に氏名を記入し、出願書類と共に必ず提出すること。

### 演奏についての注意

すべての曲について繰り返し無しで演奏すること。

### ※【DVD提出による録画審査について】（総合能力入試 [自己アピール型]、一般推薦入試のみ、作編曲専攻は除く）

演奏を収録したDVDを提出することにより、専攻別実技を録画審査で受験することができます。

なお、収録方法は以下に行い、出願書類とともに出願用封筒に同封してください。

- 受験者本人の演奏を収録してください（演奏する前に、自分の氏名と演奏曲名をカメラに向かって教えてください）。
- 演奏する試験曲の順番は任意ですが、全ての課題を通して収録してください（複数回に分けて録画した物を合成してはいけません）。
- DVD±R等1枚に標準モードで収録し、どの機械でも見られるよう、必ず**ファイナライズ**してください。録画機器の音声はリミッター（オート）を外し、マニュアル音声で収録してください。（PC以外のDVDプレイヤーで再生できることを確認してください）
- 防音完備のスタジオ等で収録する必要はありませんが、収録状態は判定に影響します。学校の音楽室等施設で結構ですが、チャイムや放送が入ったり、廊下や外部の音が音楽を審査する上で邪魔にならないよう、気をつけてください。
- 声楽：正面から上半身を撮影し、伴奏付きで演奏することとします。なお、伴奏者の画像収録は必要ありません。
- ピアノ：演奏中の演奏者の顔が判別でき、手元（鍵盤）、足（ペダル）がよく見えるような画面で収録してください。調整されたグランドピアノでの収録をお勧めします。
- 管弦打楽器：顔の表情や楽器を演奏する手元が確認できるように収録してください。
- DVDには必ず氏名と出身学校名を記入してください。